



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月7日

上場会社名 株式会社 沖縄銀行
 コード番号 8397 URL <https://www.okinawa-bank.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 山城 正保
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総合企画部長 (氏名) 佐喜真 裕
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 特定取引勘定設置の有無 無
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 福

TEL 098-867-2141

(表示単位未満は切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	38,154	△3.7	5,362	△17.7	3,319	△21.9
2019年3月期第3四半期	39,648	0.2	6,522	△13.8	4,250	△9.8

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 4,827百万円 (132.3%) 2019年3月期第3四半期 2,077百万円 (△68.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	139.22	138.94
2019年3月期第3四半期	177.30	176.87

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	2,313,178	161,546	6.8
2019年3月期	2,253,872	158,901	6.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 158,671百万円 2019年3月期 156,164百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2020年3月期	—	35.00	—		
2020年3月期(予想)				35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,300	△5.9	7,400	△30.1	4,700	△34.7	197.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	24,240,000 株	2019年3月期	24,240,000 株
2020年3月期3Q	442,484 株	2019年3月期	296,959 株
2020年3月期3Q	23,843,288 株	2019年3月期3Q	23,973,952 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○ 添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報	7
(6) (参考) 四半期信託財産残高表	7
3. 補足説明	8
(1) 損益の状況【単体】	8
(2) 預金等、貸出金の状況【単体】	9
(3) 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示【単体・連結】	11
(4) 有価証券の評価差額【連結】	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

経常収益は、貸出金利息は増加したものの、株式等売却益及び有価証券利息配当金の減少などにより、前年同期比14億94百万円減少の381億54百万円となりました。

また、経常費用は、与信費用は増加したものの、国債等債券売却損の減少などにより、前年同期比3億34百万円減少の327億92百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比11億59百万円減少の53億62百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比9億31百万円減少の33億19百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は前年度末比593億円増加の2兆3,131億円、純資産は前年度末比26億円増加の1,615億円となりました。

主要な勘定の残高につきましては、預金は、個人預金、法人預金ともに順調に増加したことから、銀行・信託勘定合計で前年度末比551億円増加の2兆722億円となりました。

貸出金は、住宅ローンを中心に生活密着型ローンが増加したものの、例年の工事資金の返済等季節的要因により法人向け及び地公体向け貸出が減少したことから、銀行・信託勘定合計で前年度末比59億円減少の1兆6,141億円となりました。

有価証券は、国内債券及び投資信託等を中心に、金融市場動向を睨みながら資金の効率的運用に努めた結果、前年度末比138億円増加の4,026億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年11月8日に公表した数値から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
現金預け金	155,396	205,939
コールローン及び買入手形	983	—
買入金銭債権	542	561
金銭の信託	1,155	1,660
有価証券	388,836	402,692
貸出金	1,618,781	1,612,991
外国為替	5,214	4,748
リース債権及びリース投資資産	19,185	19,200
その他資産	41,045	44,894
有形固定資産	20,179	19,687
無形固定資産	2,116	1,757
繰延税金資産	716	625
支払承諾見返	8,762	8,116
貸倒引当金	△9,042	△9,699
資産の部合計	2,253,872	2,313,178
負債の部		
預金	1,993,673	2,050,697
債券貸借取引受入担保金	—	2,648
借入金	45,723	45,546
外国為替	79	41
信託勘定借	22,210	20,456
その他負債	18,277	18,297
賞与引当金	747	206
役員賞与引当金	25	20
退職給付に係る負債	3,326	3,031
役員退職慰労引当金	32	24
株式報酬引当金	52	52
信託元本補填引当金	62	27
利息返還損失引当金	56	41
睡眠預金払戻損失引当金	239	207
特別法上の引当金	5	5
繰延税金負債	497	1,013
再評価に係る繰延税金負債	1,197	1,197
支払承諾	8,762	8,116
負債の部合計	2,094,970	2,151,631

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
資本金	22,725	22,725
資本剰余金	19,655	19,655
利益剰余金	103,978	105,562
自己株式	△1,045	△1,548
株主資本合計	145,313	146,394
その他有価証券評価差額金	10,609	11,782
繰延ヘッジ損益	—	2
土地再評価差額金	1,208	1,267
退職給付に係る調整累計額	△967	△776
その他の包括利益累計額合計	10,850	12,277
新株予約権	157	157
非支配株主持分	2,580	2,718
純資産の部合計	158,901	161,546
負債及び純資産の部合計	2,253,872	2,313,178

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
経常収益	39,648	38,154
資金運用収益	22,023	21,992
(うち貸出金利息)	18,863	19,087
(うち有価証券利息配当金)	2,862	2,306
信託報酬	118	89
役務取引等収益	4,346	3,881
その他業務収益	10,697	11,005
その他経常収益	2,462	1,185
経常費用	33,126	32,792
資金調達費用	887	1,077
(うち預金利息)	705	930
役務取引等費用	2,295	2,252
その他業務費用	9,764	8,825
営業経費	17,805	17,997
その他経常費用	2,373	2,639
経常利益	6,522	5,362
特別利益	—	0
固定資産処分益	—	0
特別損失	24	46
固定資産処分損	24	46
税金等調整前四半期純利益	6,497	5,316
法人税、住民税及び事業税	2,089	1,814
法人税等調整額	58	41
法人税等合計	2,148	1,856
四半期純利益	4,348	3,459
非支配株主に帰属する四半期純利益	98	139
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,250	3,319

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
四半期純利益	4,348	3,459
その他の包括利益	△2,271	1,368
その他有価証券評価差額金	△2,422	1,174
繰延ヘッジ損益	△1	2
退職給付に係る調整額	152	191
四半期包括利益	2,077	4,827
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,982	4,686
非支配株主に係る四半期包括利益	94	140

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	26,594	8,421	35,015	3,268	38,284	△129	38,154
セグメント間の内部経常収益	319	93	412	1,666	2,078	△2,078	—
計	26,913	8,514	35,427	4,935	40,362	△2,208	38,154
セグメント利益	4,425	348	4,773	744	5,518	△156	5,362

- (注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。
 2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、クレジットカード業、信用保証業等であります。
 3. 調整額は、主にセグメント間取引消去であります。
 4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(6) (参考) 四半期信託財産残高表

(単位:百万円)

資産		
科目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
貸出金	1,285	1,119
その他債権	0	0
銀行勘定貸	22,210	20,456
合計	23,496	21,576

(単位:百万円)

負債		
科目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
金銭信託	23,496	21,576
合計	23,496	21,576

3. 補足説明

(1) 損益の状況【単体】

経常収益は、貸出金利息は増加したものの、株式等売却益及び有価証券利息配当金の減少などにより、前年同期比18億99百万円減少の269億13百万円となりました。

コア業務純益は、役員取引等利益及び資金利益が減少したことに加え、経費が増加したことなどにより、前年同期比6億82百万円減少の56億29百万円となりました。

経常利益は、コア業務純益の減少に加え、与信費用の増加及び有価証券関係損益の減少などにより、前年同期比15億72百万円減少の44億25百万円となりました。また、四半期純利益は、前年同期比11億90百万円減少の29億68百万円となりました。

(単位：百万円)

科 目	2020年3月期 第3四半期 (9ヶ月)	対前年同期比	2019年3月期 第3四半期 (9ヶ月)	2020年3月期 通期業績予想 (12ヶ月)
経常収益	26,913	△ 1,899	28,813	35,100
業務粗利益	22,142	558	21,584	
資金利益	20,497	△ 208	20,706	
役員取引等利益	1,201	△ 284	1,486	
うち信託勘定不良債権処理額 ①	-	-	-	
その他業務利益	443	1,051	△ 608	
うち国債等債券関係損益(5勘定戻)	231	980	△ 749	
経費(除く臨時処理分)	16,281	260	16,021	
うち人件費	7,137	3	7,133	
うち物件費	7,874	185	7,689	
実質業務純益	5,860	297	5,562	
コア業務純益	5,629	△ 682	6,311	7,000
投資信託解約損益	3	△ 189	193	
除く投資信託解約損益	5,625	△ 493	6,118	
一般貸倒引当金繰入額 ②	709	654	54	
業務純益	5,151	△ 356	5,508	7,200
臨時損益	△ 726	△ 1,216	489	
うち株式等関係損益(3勘定戻)	△ 168	△ 1,209	1,040	
うち不良債権処理額 ③	973	392	580	
うち信託元本補填引当金戻入益 ④	35	20	15	
うち償却債権取立益	99	0	98	
経常利益	4,425	△ 1,572	5,997	6,500
特別損益	△ 45	△ 20	△ 24	
税引前四半期純利益	4,379	△ 1,593	5,973	
法人税、住民税及び事業税	1,457	△ 260	1,718	
法人税等調整額	△ 46	△ 142	95	
法人税等合計	1,410	△ 403	1,813	
四半期純利益	2,968	△ 1,190	4,159	4,600
与信費用(①+②+③-④)	1,647	1,026	620	

(注) 1. コア業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券関係損益＋信託勘定不良債権処理額

2. 業 務 純 益＝業務粗利益－経費(除く臨時処理分)－一般貸倒引当金繰入額

(2)預金等、貸出金の状況【単体】

①預金等

預金は、年金・給与振込、退職金獲得、法人取引先へのSR（ストロングリレーション）活動による従業員取引の拡大を受けて、個人預金を中心に順調に増加した結果、銀行・信託勘定合計で前年同期比655億円増加（+3.23%）の2兆917億円となりました。

	(単位：億円、%)			(参考)	(単位：億円、%)
	①2019年12月末	②2018年12月末	増減額(①-②) (増減率)	③2019年3月末	増減額(①-③) (増減率)
預金(未残)	20,917	20,261	655 (3.23)	20,370	546 (2.68)
うち 個人預金	13,340	12,721	618 (4.85)	12,722	618 (4.85)
預金(平残)	20,781	20,244	537 (2.65)	20,190	590 (2.92)

(注) 信託勘定を含んでおります。

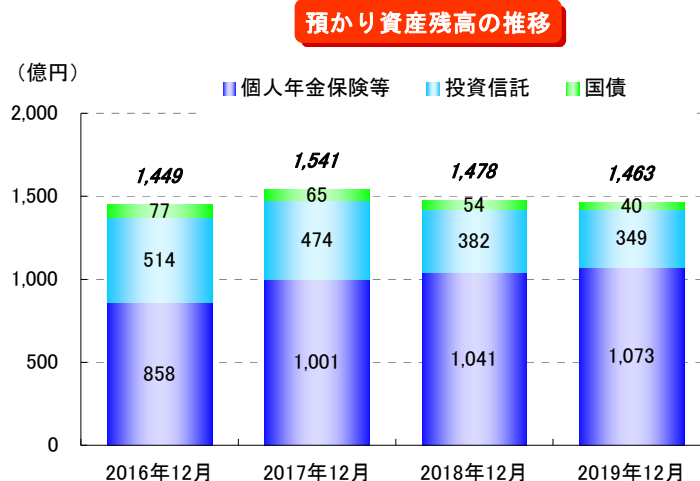


〔預かり資産残高〕

	(単位：億円、%)			(参考)	(単位：億円、%)
	①2019年12月末	②2018年12月末	増減額(①-②) (増減率)	③2019年3月末	増減額(①-③) (増減率)
預かり資産	1,463	1,478	△14 (△0.9)	1,507	△44 (△2.9)
国債	40	54	△13 (△25.0)	49	△9 (△18.4)
投資信託	349	382	△33 (△8.7)	398	△49 (△12.3)
個人年金保険等	1,073	1,041	32 (3.0)	1,059	13 (1.2)

《預かり資産》

※ お客様の資産運用商品を総称して、「預かり資産」と呼んでいます。



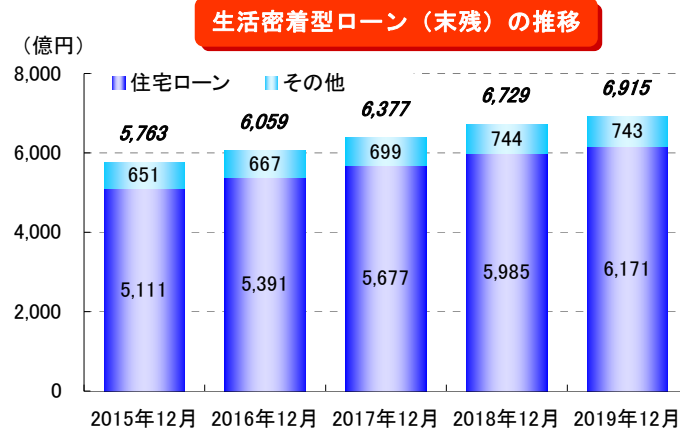
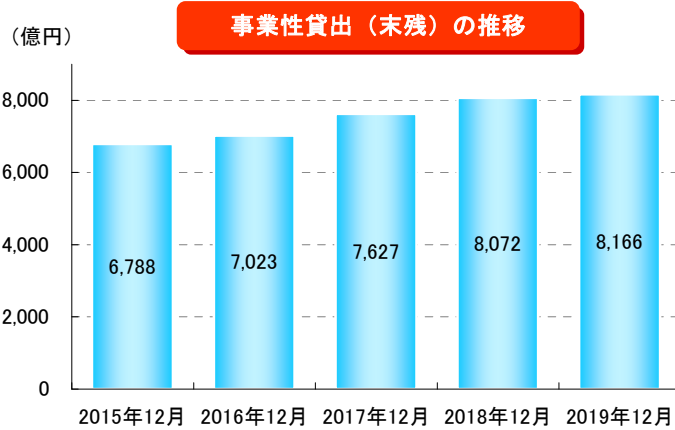
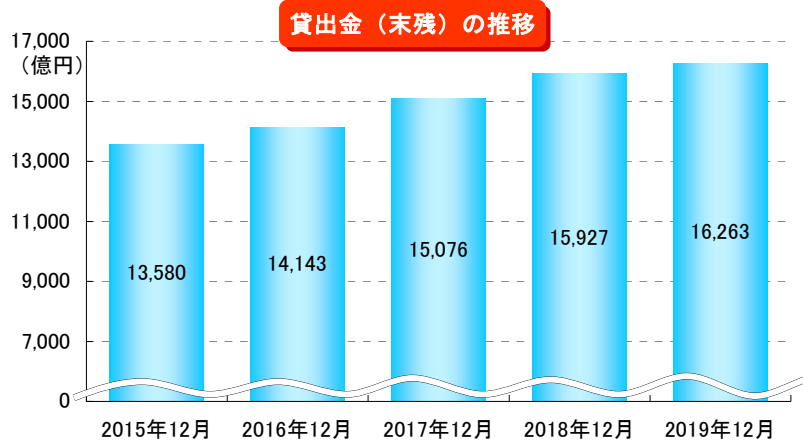
2016年3月期より個人年金保険等の残高ベースでの集計が可能となったことから、直近4年の12月期残高推移を記載しております。

②貸出金

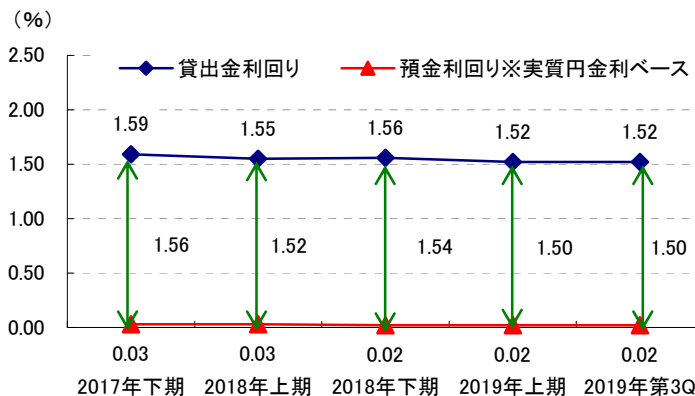
貸出金は、生活密着型ローンの営業強化を図ったことから、引き続き住宅ローンやアパートローンが順調に増加したほか、中小企業等への事業性評価による融資推進に積極的に取り組んだ結果、事業性融資も増加し、銀行・信託勘定合計で前年同期比336億円増加(+2.11%)の1兆6,263億円となりました。

	(単位：億円、%)			(参考) (単位：億円、%)	
	①2019年12月末	②2018年12月末	増減額(①-②) (増減率)	③2019年3月末	増減額(①-③) (増減率)
貸出金(末残)	16,263	15,927	336 (2.11)	16,317	△53 (△0.32)
うち事業性貸出	8,166	8,072	94 (1.17)	8,238	△71 (△0.86)
うち生活密着型ローン	6,915	6,729	185 (2.76)	6,792	122 (1.80)
うち住宅ローン	6,171	5,985	186 (3.11)	6,035	135 (2.24)
貸出金(平残)	16,111	15,570	541 (3.47)	15,657	453 (2.89)

(注) 信託勘定を含んでおります。



③利回りの推移



(注1) 「2019/3Q」は第3四半期(10~12月)の会計期間利回り
 (注2) 信託勘定を含んでおりません。
 (注3) 預金利回りは、実質円金利ベースで記載しております。
 ※実質円金利ベース…予約(スワップ)付外貸定期預金において通貨間金利調整を行った後の実質円預金利回り

(3)金融再生法ベースのカテゴリーによる開示

金融再生法開示債権残高は、単体で前年同期比10億円増加の202億円、連結で前年同期比11億円増加の207億円となりました。開示債権比率は、単体で前年同期比0.04ポイント上昇の1.23%、連結で前年同期比0.05ポイント上昇の1.27%となりました。

開示債権比率は、低い水準となっており、銀行の資産の健全性に問題はありません。

【単体】

(単位：億円、%)

	①2019年12月末	②2018年12月末	増減額 (①-②)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	73	66	6
危険債権	50	58	△7
要管理債権	78	66	11
開示債権合計	202 (1.23)	191 (1.19)	10 (0.04)

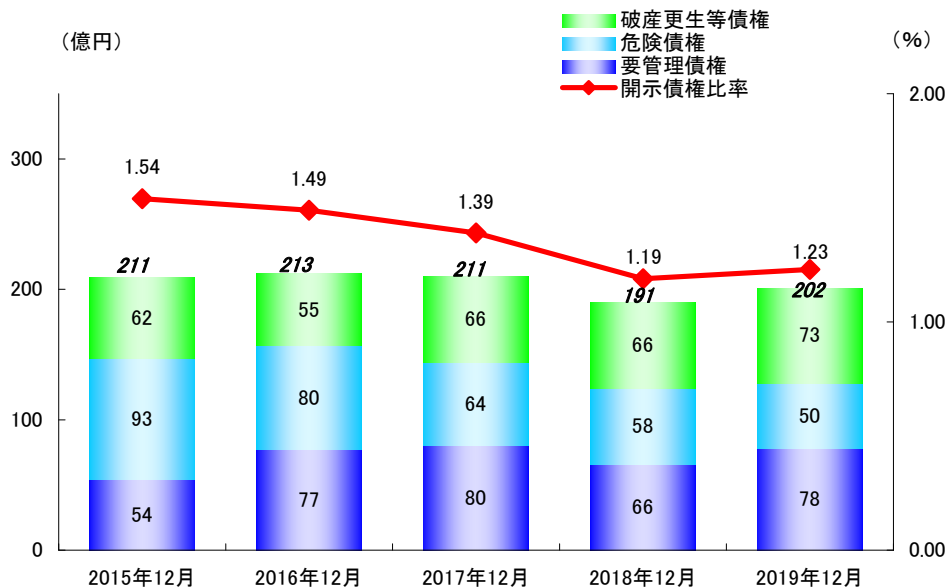
(参考)

(単位：億円、%)

	③2019年3月末	増減額 (①-③)
	75	△2
	44	5
	73	5
	193 (1.18)	8 (0.05)

(注) 信託勘定を含んでおります。

金融再生法に基づく開示債権額・比率【単体】



【連結】

(単位：億円、%)

	①2019年12月末	②2018年12月末	増減額 (①-②)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	78	70	7
危険債権	50	58	△7
要管理債権	78	66	11
開示債権合計	207 (1.27)	195 (1.22)	11 (0.05)

(参考)

(単位：億円、%)

	③2019年3月末	増減額 (①-③)
	80	△2
	44	5
	73	5
	199 (1.22)	8 (0.05)

(注) 信託勘定を含んでおります。

(4)有価証券の評価差額【連結】

時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は含めておりません。

	(単位：億円)						(参考)		(単位：億円)	
	①2019年12月末		②2018年12月末		増減額(①-②)		③2019年3月末		増減額(①-③)	
	帳簿 価額	含み 損益	帳簿 価額	含み 損益	帳簿 価額	含み 損益	帳簿 価額	含み 損益	帳簿 価額	含み 損益
満期保有目的の債券	108	10	109	10	△0	△0	109	11	△0	△1
債券	108	10	109	10	△0	△0	109	11	△0	△1

	(単位：億円)						(参考)			
	①2019年12月末		②2018年12月末		増減額(①-②)		③2019年3月末		増減額(①-③)	
	時価	評価 差額	時価	評価 差額	時価	評価 差額	時価	評価 差額	時価	評価 差額
その他有価証券	3,881	167	3,742	124	139	42	3,743	150	138	16
株式	187	87	196	69	△8	18	180	71	6	16
債券	3,168	56	3,099	59	68	△3	3,107	69	61	△12
その他	525	22	446	△5	79	27	455	9	70	12
うち外国債券	158	3	112	1	46	1	123	3	34	0

(注) 各四半期末の「含み損益」及び「評価差額」は、各四半期末の帳簿価額(償却原価法適用後・減損処理後)と時価との差額を計上しております。

その他有価証券の評価差額【連結】

